

前田慶次

米沢市観光
ガイドブック



米沢

YONEZAWA

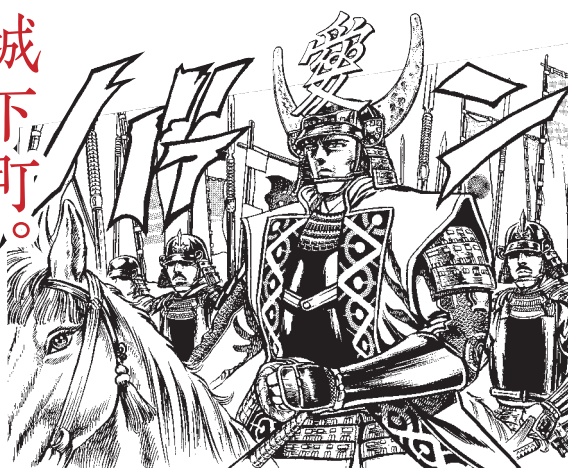
上杉景勝



旅する
城下町。

上杉謙信

直江兼続





上杉文化をいまに伝承する
歴史と伝統の上杉の城下町
山形県南部に位置する
魅惑の土地、置賜地方。
吾妻山・飯豊連峰を源に、
春は桜の花見の宴、
夏は満開のあやめに
ゆりにバラ、べにはな、
ダリヤ、秋は錦おりなす紅葉と
自然のめぐみ、
冬は雪ばんぼりの明かりで
温泉三昧。
たまには置賜、
「おもしろな」のもてなしの
心にあふれる旅を。

あなただけの米沢旅を。

■米沢・置賜百選 まちナビカード

お得な情報、クーポンなど
米沢市内や置賜地方を楽しく
周遊できる観光ツールを
ご用意しております。



■観光コンシェルジュ

外国語案内ができる観光コンシェルジュが常駐。
米沢や置賜地方の観光案内はもちろん、
旅行業（第2種）に登録し、着地型・体験型の旅行商品を紹介・販売しております。



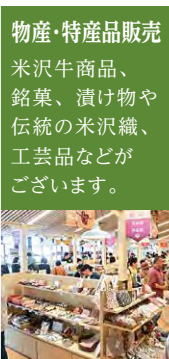
フードコート

米沢を代表する
ラーメン、十割板
蕎麦や牛丼など、
専門店の味を
追求しました。



ファストフード

ジェラートや牛串、
玉こんにゃくなど、
手軽に食べられる
名物をご用意して
おります。



物産・特産品販売

米沢牛商品、
銘菓、漬け物や
伝統の米沢織、
工芸品などが
ございます。



山形の美酒

山形県内53蔵の
酒を集めた地酒・
ワインコーナーで
す。オリジナル地
酒もあります。



米沢牛ステーキレストラン「牛毘亭」

米沢牛の美味しさを
あますことなく
お楽しみいただけ
ます。

米沢にしかない、 「旅の品質」をあなたに。

私たちが米沢でお約束する「旅の品質」、
それは旅先での時間や、味わいや、体験の贅沢さではありません。

それは、歴史を超えて流れ続ける豊かな時間と文化を呼吸し、
日本人に生まれた幸せを全身で、五感で感じ、
長く忘れていた自然と人の豊かな関わりを思い出し、
また帰って来たいような新しい自分の場所に出会い、
そして旅が終わった後も温かい記憶の中で生き続ける、
そんな米沢だけの価値がつまった旅なのです。

そのために私たちは、旅の「米沢品質」をいつも考え続けながら、
おもてなしの中での挑戦と創造を大切にし、
あなたとの出会いを楽しみにお待ちしております。

さあ、米沢さ、行ってみっぺ！



道の駅米沢

(運営：株式会社アクセスよねざわ)

米沢市大字川井 1039-1

TEL 0238-40-8400

(受付時間 9:00~18:00)

【営業時間】

総合観光案内所・

農産物直売所・特産品販売所 ... 9:00~18:00

フードコート・ファストフード ... 10:00~18:00

コンビニエンスストア ... 7:00~21:00

道路情報コーナー・トイレ ... 24時間

牛毘亭 平日

10:00~18:00 (17:30LO)

牛毘亭 土・祝日

10:00~18:30 (18:00LO)

※感染症対策のため営業時間を短縮しています。

※繁忙期の営業時間は土曜・休日に準じます。

絶景

鷹山

歴史

伝統

催事

温泉

名物

アクティビティ

米沢品質

MAP

交通の案内

絶景

時間を忘れる 米沢風景

夏は蒸し暑く、冬は豪雪。
四季がはっきりとしている米沢は、
変化に富む風光明媚な風景を見せてくれます。
全身で春夏秋冬を感じてください。

松が岬公園の桜

伊達氏や上杉氏らが城主となった米沢城の跡地に
整備された公園。200本の桜が城址を彩ります。
〔「春のZEKKEI」アワード」に選出〕



米沢上杉まつり

春の米沢の一大イベント。上杉神社と松岬神社
の例大祭にあわせ、大勢の踊り手による開幕祭
からはじまり、上杉軍の出陣の儀式武蔵式（ぶ
ていしき）、市内を練り歩く上杉軍団行列、上杉
軍と武田軍の戦いを再現する川中島の合戦が行
われます。（P.17参照）

よねざわ戦国花火大会

「戦国」×「ドローン」×「花火」が織り成す、
これまでとは一線を画す花火大会。
（P.17参照）



小野川温泉ほたるまつり

ゲンジボタルやヘイケボタルが温泉街を
やさしい光で包みます。（P.21参照）



白布温泉

標高800mに位置する奥州三高湯のひとつ
で、豊富な湯量が自慢。（P.19参照）

西吾妻スカイバレー

白布温泉と福島県北塩原村を結ぶ観光道路。
綿平の紅葉が見どころです。



天元台高原トレッキング

天元台高原は、日本百名山の一つ西吾妻山の中腹に位
置し、大バケツが広がる山頂までのトレッキングが
楽しめます。（P.25参照）



上杉雪灯籠まつり

幻想的な世界が広がる米沢の冬の風物詩。雪灯籠は市民
一体となり制作しています。戦没者を慰霊する鎮魂祭や
ステージイベントも行われます。（P.17参照）



上杉雪灯籠まつり

色とりどりのキャンドルが雪に映える
キャンドルゾーン。



小野川温泉 かまくら村

冬ならではの楽しみ方が満載です。（P.21参照）



鷹山

なせばなる
なさねばならぬ
何事も
ならぬは人の
なさぬなりけり

上杉の城下町「米沢」は、上杉景勝・直江兼続とともに今日への歩みを踏み出しました。江戸時代、米沢藩が直面した幾多の困難と苦楽を共にし、清廉を貫き創意工夫によって難局を克服する「米沢らしさ」を磨き上げてきました。その精神的支柱となり、今に生き続けている存在こそ、第9代藩主上杉治憲（鷹山）です。

今日も慕われる名君 上杉鷹山

1751-1822 ※諸説あり

率先垂範し、産業と文化の礎を築く

米沢の歴史と文化の中心地であり、市民の憩いと学びの場ともなっている松が岬公園は、かつて米沢城だったところ。その本丸跡に建つ上杉神社への参道を進み、堀を渡る手前右手に松岬神社があり、上杉鷹山も祀られています。

鷹山は1767（明和4）年、17歳で上杉家を継ぎ第9代米沢藩主となりました。折しも藩財政は窮乏を極め、途方に暮れた8代藩主重定は幕府への領知返納を決意します。辛うじて思いとどまりはしたものの、藩存亡の危機は変わりません。

鷹山はまず、大倭約令を発し自ら率先して改革を実践、慣行を通そうとする家臣らに厳しい質素倭約の生活を求め、桑の栽培と養蚕を奨励し、産業を興します。そして、米沢織、米沢鯉、ウコギ、笹野一刀彫など、本市の名産・伝統品として今日に受け継がれている産業を根付かせていきました。

民の父母 鷹山政治の理念

藩主となった鷹山は、春日神社・白子神社に「誓詞」を奉納、強い意志をもって米沢藩の立て直しに取り組みます。その思いは家督を継いだ際に詠んだ和歌に端的に表明されました。

受け継ぎて 国の司の 身となれば
忘るまじきは 民の父母

鷹山と平洲の師弟の絆をしのぶ 上杉治憲敬師郊迎跡 (国史跡)

普門院

平洲は3度、米沢を訪れています。その最後の訪問は、鷹山46歳、平洲69歳の時。平洲を郊外の関根地区にある羽黒堂（羽黒神社）で出迎え、普門院で旅の労をねぎらった鷹山の姿は敬師の美談として世に響き、讃えられました。

一字一涙の碑 (普門院境内)

平洲が鷹山に出迎えられた際の感動を書き送った書簡の一部が刻まれた碑であり、鷹山と平洲の再会の場面と師弟の絆を伝えてくれます。

碑名は興譲館提学・神保蘭室による書簡跋文「之を読めば一字一涙、人をして慨焉（がいえん）として往日を憶わしむ」から。

園 米沢市大字関根13928
☎ 0238-35-2750（普門院）

鷹山終生の師… 儒学者・細井平洲 1728-1801

鷹山の改革は細井平洲の教えに学んだものでした。平洲と米沢藩との交わりは、江戸市中で辻講釈をしていた平洲の話を藩医 薬科松伯が聞き感銘を受けたことから始まったといわれ、鷹山は14歳の時、江戸桜田藩邸で平洲から初講談を受けています。

藩主となって4年後の1771（明和8）年、鷹山は初めて平洲を米沢に招き、藩士らにも学ばせています。また1776（安永5）年には「学問は治国の根源」として藩校を再興、平洲が「興譲館」の名と「学則」を定め、藩政を担う人づくりの拠点としました。

*興譲館跡地（中央2丁目）に市民有志によって建立された記念碑があります。
興譲館の名は米沢興譲館高校と興譲小学校に受け継がれています。



松岬神社

上杉神社に祀られていた上杉鷹山を分祀するため、1902（明治35）年に創建されました。後に初代藩主上杉景勝、直江兼続、細井平洲、竹俣当綱、荏戸善政を配祀し、米沢の基礎を築いた6人を祭神としています。境内に鷹山の「伝国の辞」の碑があります。

園 米沢市丸の内一丁目
☎ 0238-22-3189（上杉神社社務所）

伝国の辞

鷹山が家督を世子治広に譲ったときに贈った心得。鷹山が追求し続けた藩主像を簡潔な3箇条に凝縮したもので、藩主が自分勝手な政治を行うことを戒め、領民を思う政治をすることが示されています。

伝国の辞

- 一、国家は先祖より子孫へ伝え候国家にして我私すべき物にはこれ無く候（国は先祖から子孫へ伝えられるものであり、自分で勝手にしていいものではない）
- 一、人民は国家に属したる人民にして我私すべき物にはこれ無く候（国民は国に属しているものであり、自分で勝手にしていいものではない）
- 一、国家人民の為に立たる君にて君の為に立たる国家人民にはこれ無く候（国・国民のために存在し行動するものが君主（藩主）であり、君主のために存在し行動する国・国民なのではない）

右三条御遺念有間敷候事
（この三ヶ条を心に留め忘れなきように）

天明五巳年二月七日 治憲
治広殿

上杉鷹山を巡るおすすめルート

鷹山の功績が今も残る

ラクチン公共交通機関

9:30

バス

米沢駅

置賜広域観光案内センター（ASK）で「乗るパス」「観るパス」購入。

10:00

徒歩

上杉記念館（上杉伯爵邸）

和庭（P.13参照）で着付け体験

着物に着替えてお出掛けできます。上杉家ゆかりのスポット、上杉神社（P.9参照）、稽照殿（P.9参照）、松岬神社（P.5参照）を見学！



11:30

徒歩

伝国の杜

（米沢市上杉博物館・置賜文化ホール）

上杉の歴史と文化を紹介する伝国の杜。国宝・上杉本洛中洛外図屏風は必見です。
 所 米沢市丸の内1丁目2-1
 ☎0238-26-8000



11:30

徒歩

上杉記念館（上杉伯爵邸）で昼食

庭園を眺めながら郷土料理や米沢牛など、米沢の味を堪能。



12:30

徒歩

米織会館

米沢の基幹産業である米織に関する展示や、米織織小物の販売などを行っています。



14:00

バス

酒造資料館 東光の酒蔵を見学

（P.24参照）

酒造資料館の見学のほか、東光自慢の酒が試飲できます。



15:30

バス

上杉家廟所

（P.9参照）

歴代米沢藩主が眠る廟。中央に藩祖・上杉謙信が安置されています。

16:00

バス

小野川温泉に宿泊

（P.18参照）

温泉玉子づくり（P.18参照）、鈴の絵付けなど、温泉街での楽しみ方はさまざま！

米沢路線バス1日乗り放題券 米沢乗るパス
 1日乗り放題で米沢各観光施設を巡ることができます。
料金 520円（小学生半額・未就学児は無料）
■該当路線
 【山交バス】特定区間
 ※詳細は下記（一社）米沢観光コンベンション協会まで。
 【米沢市営バス】①市街地循環路線（右回り・左回り）②市街地循環バス（南回り路線）③米沢市役所～万世線

米沢上杉 文化施設 共通入館券 米沢観るパス
 6施設から4施設選んでお得に見学できます。
料金 2,000円
■利用可能施設
 稽照殿（上杉神社）・上杉家廟所・上杉博物館・宮坂考古館・酒造資料館東光の酒蔵・春日山林泉寺の6施設から4施設

米沢を気軽に散策 レンタサイクル
 行動範囲がグッと広がります。
料金 200円（1時間）～500円（上限1日）
■貸出時間：9時～17時
■貸出時期：4月中旬～11月
■貸出場所：
 ・置賜広域観光案内センター-ASK（米沢駅内）☎0238-24-2965
 ・道の駅米沢（総合観光案内所）☎0238-40-8400
 ・上杉伯爵邸（和庭）☎0238-21-5121
■台数：大人用15台

電動アシスト機能付き自転車 E-BIKEレンタル
 坂道も長距離もラクラク。
料金 1,000円（4時間以内）2,000円（8時間以内）
■貸出時間：9時～17時
■貸出時期：4月中旬～11月
■貸出場所：
 ・置賜広域観光案内センター-ASK（米沢駅内）☎0238-24-2965
 ・道の駅米沢（総合観光案内所）☎0238-40-8400
 ・上杉伯爵邸（和庭）☎0238-21-5121
■台数：各施設15台

問（一社）米沢観光コンベンション協会 ☎0238-21-6226

問各貸出場所

スポットを巡る旅へ出掛けましょう！

クルマで気ままに 御朱印めぐりの旅

9:00

道の駅米沢

（表紙裏面参照）

東北中央自動車道米沢中央ICそば。案内所では米沢の観光情報を発信しています。

9:30

鷹山堂 Fabric & Coffee

米沢織を現代風にアレンジした「米織小紋」を扱う鷹山堂で、オリジナル御朱印帳をゲット！
 所 米沢市赤芝町1754
 ☎0238-33-9467
御朱印帳購入



10:15

法音寺

（P.9参照）

上杉家歴代藩主の菩提寺。上杉家の什物が多数保存されています。
御朱印



10:30

上杉家廟所

（P.9参照）

御朱印



11:00

染織工房わくわく館

（P.14参照）

米沢織の手織りと紅花染め体験で自分だけの作品づくり。



12:30

桂町さっぽろ

昔ながらの米沢らめんに舌つつみ。
 所 11:00～16:00（木曜日は～14:00）
 所 不定休
 所 米沢市松が岬3丁目5-31 ☎0238-23-0376



13:30

白子神社

上杉家をはじめ歴代領主が信仰した米沢の鎮守。鷹山の「俣約誓詞」などを保存しています。
 所 米沢市城北2丁目3-25 ☎0238-21-3482



14:00

上杉神社

（P.9参照）

上杉謙信を祭神とする神社。米沢観光のメインスポットです。
御朱印



14:30

上杉城史苑

【うき茶&うきアイスのうきセット】

上杉神社そばの観光物産館「上杉城史苑」のカフェでひと休み。
 【物産販売・カフェ】所 10:00～17:00 所 無休
 【レストラン】所 11:00～14:30 所 木曜・日（祝日は営業）
 所 米沢市丸の内1丁目1-22 ☎0238-23-0700



15:00

普門院

（P.5参照）

鷹山が恩師・細井平洲を迎え、休憩した部屋がそのまま残っています。

15:30

堂森善光寺

（P.12参照）

前田慶次の供養塔、逸話を伝える「兜むくり」のモニュメントなどがあります。
御朱印



16:00

道の駅米沢

トイレ休憩を済ませて、お土産を買ったら安全運転で帰宅しましょう！

旅する城下町。 上杉家 米沢藩の後先



狩野永徳筆「紙本金地著色 洛中洛外図（上杉本洛中洛外図屏風）」（国宝）

織田信長から上杉謙信に贈られたといわれ、狩野派を代表する狩野永徳の作で、数ある「洛中洛外図」の中でも傑作とされています。（米沢市上杉博物館蔵）

戦国英雄の信と義

米沢藩上杉氏の家祖

うえ すぎ
上杉
けん しん
謙信
1530 - 1578



©隆慶一郎・原哲夫・麻生未央／コアミックス 1990

上杉家の家祖上杉謙信は、「越後の龍」と称される戦国武将です。謙信は春日山城（新潟県上越市）を本拠に武田氏・北条氏などとの戦いに明け暮れます。「甲斐の虎」といわれた武田信玄との5度にわたる川中島合戦は「三太刀七太刀」の逸話とともに有名で、戦国時代を代表する合戦です。謙信の敵に塩を送った「義」を貫く精神は、今日の米沢市民に受け継がれています。



米沢城本丸跡（上杉神社境内）

米沢城跡は、続日本100名城に登録されています。

上杉神社



上杉謙信像



49歳で急死した謙信の遺骸は、甲冑を着け甕に収められ、春日山城内にまつられたと伝わります。遺骸はその後、上杉氏とともに会津、さらに米沢へと移され、上杉氏と藩士の心の支えとして崇拝され続けます。米沢城本丸跡に入ってすぐ左手、一段高い所に築かれた御堂に祀られていました。

1872（明治5）年に上杉神社が創設され、謙信と鷹山が祭神として祀られます。1876（明治9）年に上杉家廟所へ謙信の遺骸が遷され、現在地に社殿が創建されました。上杉神社は1902（明治35）年に別格官幣社となり、謙信のみが祭神となりました。

現在の神社本殿は、1919（大正8）年の米沢市大火で焼失後、1923（大正12）年に再建されたもので設計は米沢出身の東京帝国大学教授伊東忠太です。

〒米沢市丸の内一丁目

☎0238-22-3189（上杉神社社務所）



家祖上杉謙信の廟を中心に米沢藩主上杉氏歴代の墓（廟屋）が並び、杉木立の中で荘厳な雰囲気漂います。市民には御霊屋と呼ばれ親しまれています。

〒米沢市御廟一丁目

☎0238-23-3115（上杉家管理事務所）



上杉神社の宝物殿で、国登録有形文化財。上杉謙信・景勝・鷹山ほか直江兼続ゆかりの刀や甲冑、絵画・書など、国重要文化財を含む多くの宝物を収蔵・展示しています。

〒米沢市丸の内一丁目

☎0238-22-3189（上杉神社社務所）



米沢藩主上杉氏の菩提寺で真言宗のお寺です。上杉家廟所に隣接し、堂内には上杉氏歴代の位牌があり、上杉謙信が厚く信仰した毘沙門天像（「泥足毘沙門天」）等も安置されています。

〒米沢市御廟一丁目 ☎0238-22-2095（法音寺）

う え す ぎ か げ か つ
上杉景勝と
1556 - 1623
な お え か ね つ ぐ
直江兼統
1560 - 1619

上杉謙信の養子となり家督争いを制した上杉景勝は、近しく学んでいた直江兼統を側近とします。このことは景勝の母・仙桃院の計らいだったともいわれます。果たして兼統は、秀吉をして「天下の治世を任じうる人物」と言わしめるほどとなり景勝を支えたのです。

景勝は越後を統一し、豊臣秀吉の信任を得て五大老の一人となり、徳川家康と対峙することになります。関ヶ原の戦いで西軍方に加担したため、1601(慶長5)年に会津120万石から米沢30万石へと減封となり、米沢城を居城とするようになりました。



上杉景勝

© 隆慶一郎・原哲夫・麻生未央／コアミックス 1990



直江兼統

© 隆慶一郎・原哲夫・麻生未央／コアミックス 1990



景勝・兼統主従像(上杉神社参道口)

2009年に放送されたNHK大河ドラマ「天地人」で愛の前立をあしらった兜の武将として一躍有名になりました。

現在の米沢のもととなるまちづくりは、上杉家の重臣直江兼統の手によって始められました。

兼統は城下町の拡張整備を行い、家臣団や町人町の屋敷割を指揮しました。兼統の城下町整備の影響は現在の米沢のまちにも色濃く残っています。また、殖産事業や鉄砲製造に力を入れ、青芋・漆・紅花等の商品作物を奨励、殖産興業政策を推し進めました。青芋は米沢藩の特産物として成長し、越後や奈良などの織物産地に出荷され、米沢藩財政に大きく寄与するものとなりました。

兼統は治水・利水事業に力を入れ、松川(最上川) 治水の谷地河原堤防(直江石堤)や蛇堤、猿尾堰などを築きます。農地はもちろん城下町の整備発展はこれにより可能となり、今日に至る歩みを踏み出したのです。

米沢市丸の内一丁目

☎0238-22-3189 (上杉神社社務所)



越後から当地へと移された上杉家(長尾家)の菩提寺で、家祖謙信が幼い頃に学んだ寺でもあります。上杉家の奥方・子女たちほか、直江兼統夫妻や重臣らの墓所も並び、林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所として県指定史跡となっています。景勝に嫁いだ武田信玄の娘・菊姫の墓、その菊姫を頼って来た弟信清の墓もあり、戦国の乱世を経て結ばれた縁を偲ばせてくれます。

米沢市林泉寺一丁目 ☎0238-23-0601 (林泉寺)



前田慶次が所用していたといわれる甲冑や直江兼統の所用の具足など、米沢藩関係の重要な文化財が数多く展示されています。

米沢市東一丁目2-24

☎0238-23-8530 (宮坂考古館)

坂上田村麻呂の開基と伝わり、810(弘仁元)年に現在地に観音堂が創建、会津の高僧徳一上人により入仏供養が行われたといわれます。現在の観音堂は、1843(天保14)年に再建されたもので、大きな茅葺屋根と周囲に施された緻密な彫刻が特色です。別名「あじさい寺」とも呼ばれており、梅雨の時期には紫陽花が咲き誇ります。

また、この寺がある笹野地区は笹野一刀彫の民芸品「お鷹ぼっぱ」が有名で、観音参詣の縁起物として人気です。

米沢市笹野本町 ☎0238-38-5517 (笹野観音幸徳院)



長命山幸徳院笹野寺
笹野観音

前田慶次ここに眠る

直江兼続と出会って意気投合し、上杉家に仕えるようになったという前田慶次。加賀藩の祖となる五大老前田利家の兄利久の養子でしたが、利久が死ぬと前田家を出奔、京都で文武の交わりを謳歌していたようです。

上杉家に仕え米沢にきた頃は50代も半ばを過ぎていたと思われますが、東北の関ヶ原といわれる「長谷堂城合戦」での勇猛な戦いぶりが伝わっています。

晩年は市街東部の万世町堂森に無苦庵を建てて住んでいたといわれます。戦国の世を駆け抜けたその傾奇者と呼ばれる「生きざま」は、今も多くのの人々を魅了し続けています。

「花の慶次」

© 隆慶一郎・原哲夫・麻生未央／コアミックス 1990



前田慶次供養塔

前田慶次供養塔

「花の慶次」とは

群雄が割拠する激動の時代を駆け抜けた主人公の前田慶次を中心に、戦国の世を色鮮やかに生きた様々な人間たちの一大群像絵巻。

戦国の世を、己の義と美意識のために命を賭す当世きっての傾奇者として生きた漢(オトコ)・前田慶次の奔放な生きざまを描いた作品である。

少年漫画雑誌にて1990年から連載を開始。

807(大同2)年創建といわれる古刹で、山形県指定文化財の木造阿彌陀如来立像(見返り阿彌陀如来)と木造伝長井時広夫妻坐像などがあります。慶次がここに埋葬されたとの説があり、境内に供養塔が建てられました。

毎年6月4日に前田慶次祥月命日忌供養が営まれ、全国からファンが訪れます。「万世のあじさい寺」としても人気です。

隆慶一郎の歴史小説「一夢庵風流記」を原作とし、少年誌に配慮したアレンジやオリジナルエピソードなどが追加され、1993年まで連載された。

優しさと男気にあふれた慶次と登場人物が織り成す人間ドラマ、および同時代を生きた群雄たちと時に爽やかに、時には激しく渡り合う「いくさ」を圧倒的な画力をもって描かれた漫画。

伊達政宗生誕の地

伊達宗遠による置賜地方への侵攻後、米沢は伊達氏によって治められます。1548(天文17)年に伊達晴宗により本拠が桑折西山城(福島県桑折町)から米沢城へと移され、以後米沢が伊達氏の本拠地となります。「独眼竜」の名で知られる伊達政宗は、1567(永禄10)年に米沢城で生まれました。会津の蘆名氏を滅ぼすなど「南奥羽の覇者」といわれるほどに勢力を拡大しますが、1591(天正19)年に豊臣秀吉の奥羽仕置により岩出山(宮城県大崎市)に移され、米沢を去りました。

その後、仙台藩の基礎を築き、また、ヨーロッパと貿易すべく、支倉常長などの家臣をローマ法皇の下へ派遣したことも有名です。

後年、米沢を通過の折、「故郷は夢にだにさえ疎からず」と望郷の歌を詠んでいます。



© 隆慶一郎・原哲夫・麻生未央／コアミックス 1990



米沢市館山宇城山ほか

☎ 0238-21-6111 (米沢市教育委員会文化課)

市街西部にある米沢盆地最大級の山城です。南側の大樽川、北側の小樽川の2つの河川に挟まれた標高300mの舌状丘陵の先端部に築城された天然の要害で、伊達氏の正史「伊達治家記録」に登場します。発掘により石垣や枳形虎口、山麓居館跡の存在も明らかになるなど、中世社会の動向を知る上でも重要な遺跡として国史跡に指定されました。伊達氏だけでなく、上杉氏も利用したことが判明しており、伊達氏・上杉氏の歴史を体感できる史跡として、城マニアに人気上昇中のポイントです。



米沢市丸の内一丁目 ☎ 0238-21-5121 (上杉記念館)

上杉家14代茂憲伯爵邸として建てられ鶴鳴館(かくめいかん)とも称されました。1919(大正8)年の米沢大火で類焼、1925年(大正14年)に銅板葺き・総ヒノキの入母屋づくりの建物と東京浜離宮に倣った庭園が再建されました。その後市が上杉家から譲り受け、観光客や市民に開放しています。

庭園を眺めながら米沢の郷土料理が味わえるほか、敷地内の和庭では米沢織の着付け体験と和カフェが楽しめます。

「おしょうしなガイド」でより深く楽しい旅へ!

米沢ならではの「おしょうしな」の心を込めて、あたたかく楽しく個性的にご案内する、観光ボランティアガイドです。気軽にお声がけください。

【問い合わせ】

(一社)米沢観光コンベンション協会 ☎ 0238-21-6226

■活動期間 4月～11月
(12月～3月は予約受け付けのみ)

■活動時間 原則として10:00～15:00

■料金

- 上杉神社など松が岬公園周辺は無料
(参考: 神社周辺だけの所要時間=40分～1時間)
- 市内ガイドは1時間1,000円

*「おしょうしな」とは、米沢の方言で「ありがとう」の意味です。



伝統

米沢織

YONEZAWA ORI



紅花染 新田
明治17年創業。紅花染めが中心の米沢織元。
〒米沢市松が岬2丁目3-36
☎0238-23-7717

紅花や梅、藍など、自然の素材を使った
先染の技法で、思い通りの色に染め上げる

上杉鷹山が家中の女子に織り方を習得させたのが始まりといわれる「米沢織」。国内有数の織物産地としてその技を今に受け継ぎ、さまざまな製品を作り出しています。

江戸時代の初め、米沢では桑やからむし、紅花などが栽培されており、直江兼続がこれらの特産物を奨励し、藩の買上制としました。中でも青芋（あおそ：からむしから取りだした繊維）は、後に藩の主要な特産物となり、奈良晒や越後縮の原料として織物産地に売られていきました。

その後、養蚕が盛んになると、麻

織物から絹織物へと移行。現在は絹袴地の生産のほか、名刺入れやネクタイなどの小物も販売されており、新たな米沢織の魅力を広く伝えていきます。

紅花染 新田 常務取締役
新田 克比古 さん

紅花染めは紅花本来の色を出すのが難しいのですが、染色を複数回繰り返し、美しいと思える色合いを目指しています。



笹野一刀彫

SASANO-ITTOBORI

伝統

刃物1本を使って造り出す鷹は
繊細さと素朴さを合わせ持つ逸品



米沢市南部の笹野地区で、1200年に亘り伝承されている「笹野一刀彫」。坂上田村麻呂が戦勝祈願として笹野観音に削り花（笹野花）を捧げたことに始まるとされ、信仰対象の縁起物などとして伝えられてきました。



笹野一刀彫 鷹山 7代目
戸田 賢太郎 さん

木彫りは下級武士、染めは女性の仕事とされ、今もその分業で行っています。羽の巻き具合は経験のなせる技と言えるでしょう。

その代表とされる「お鷹ぼっぼ」は、コシアブラやえんじゅの木をサルキリという独特の刃物1本で彫り、黒と黄色の彩色を施したもの。「ぼっぼ」とはアイヌ語で玩具の意味があり、上杉鷹山が、鷹の力強さと自分の名前とのつながりから、鷹の商品を「禄高が増える（商売繁盛）」と意味付け、農民の冬期の副業として製作を奨励したとされています。

鋭い目つきとくるくるとカールした羽が特徴的で、野趣豊かな中にも凛とした気品の漂う作品は、贈答品としても人気があります。

笹野一刀彫 鷹山
梶やセキレイなどをモチーフにした作品も制作。

〒米沢市笹野本町5742-1
☎0238-38-3200



体験



30分～半日

〒1,320円～5,500円
〒染織工房わくわく館 ☎0238-24-0268

手織り体験

手織り機を使い、手軽なコースターから本格的なランチョンマットまで作ります。

ハンカチやスカーフを、紅花、藍などで染めます。

〒1,320円～11,000円
〒紅花染 新田
☎0238-23-7717
染織工房わくわく館
☎0238-24-0268
菅原工房 ☎0238-23-9286



30～60分

紅花・藍などの草木染め体験

着付け体験

米沢織の着物を着て上杉神社周辺を散策したり、和風カフェでお抹茶を楽しんだりできます。甲冑と忍者の着付けも可。 5,000円～6,000円(ワンドリンク付)

〒米沢・茶寮 和庭(なごみてい) ☎0238-21-5121 ※冬期休業



筆でお鷹ぼっぼの表情を描いていきます。

〒お鷹ぼっぼ 要問合せ
〒笹野一刀彫 鷹山
☎0238-38-3200

絵付け体験



30分

原方刺し子

上杉家とともに移り住んだ下級武士達の妻が、布をつなぎ合わせ丈夫に使えるようにと施したのが始まりとされています。美しい図柄が特徴で、海外でも高い評価を受けています。



一針一針作る
幾何学模様が特徴

相良人形

230年続く一子相伝の伝統工芸品は、同じ場所、同じ粘土と技で製作が続けていること、独特の三角目が特徴。縁起のよさが話題になった「猫に蛸」をはじめ200種類以上の型があり、表情や動きがユニークで躍動感があると人気です。

素朴さと
ユーモラスな表情が魅力



米沢焼

成島焼の良さを生かし、独自の技法で作られた「米沢焼」。初心者向けの陶芸体験から、釉薬を使用した本格的な製作指導まで行っています。

体験 2時間

料 2,000円～

場 米沢焼 鳴洲窯

場 米沢市広幡町成島914

☎0238-37-2839

※冬期休業



打刃物

米沢市には今でも鍛冶屋が数軒残り、手作りの刃物作りを受け継いでいます。鎌や包丁など丈夫で使いやすい刃物は一生ものとして親しまれています。



熱く燃える心

米沢の味覚を楽しむイベントや歴史に彩られた祭りなど、四季折々の楽しみが訪れる人々をもてなしてくれます。

動画
Check!



◆4月29日～5月3日

米沢上杉まつり

上杉行列と川中島合戦に代表される、米沢に春を告げるおまつりです。

所 伝国の杜周辺、松が岬公園周辺、松川河川敷ほか

場 米沢上杉まつり実行委員会

☎0238-22-9607

◆6月中旬～7月中旬

小野川温泉はたる祭り

ゲンジボタルやハイケボタルなどが幻想的に夏の夜に飛び交います。

所 小野川温泉街

場 小野川温泉観光協議会

☎0238-32-2740

(下組) (上組)

◆7月9日直前の日曜・8月15日・16日

梓山獅子踊り

県重要無形民俗文化財に指定されている獅子踊りが披露されます。

所 梓神社・松林寺・法将寺

場 梓山獅子踊保存会(万世コミュニティーセンター内) ☎0238-28-5381

◆8月1日 愛宕の火祭り

御神火渡りと山頂まで上る勇壮な夜のみこし渡御が見どころです。

所 愛宕山及び地蔵園

場 愛宕神社 ☎0238-23-3268

◆8月第1金曜

米沢納涼水上花火大会

約6,000発が鮮やかに夏の夜空を彩ります。

所 松が岬公園

場 置陽日报社 ☎0238-22-7250

◆8月15日 綱木獅子踊り 2

平安時代に始まったとされる踊りで、お盆の伝統行事として伝えられています。

所 円照寺跡地

場 米沢市観光課 ☎0238-22-5111

◆9月中旬 米沢牛肉まつり

最高級の米沢牛の美味しさをすき焼きで堪能できるイベント。

所 松川河川敷

場 米沢市農政課 ☎0238-22-5111

◆9月下旬 なせばなる秋まつり

伝統市や食のイベント、物産市、ステージイベントなど見どころ満載です。

所 松が岬公園、伝国の杜周辺

場 なせばなる秋まつり実行委員会

☎0238-22-9607

◆10月中旬

よねざわ戦国花火大会

ドローンショーと武将隊の演武が花火とコラボするなど、歴史と現代が融合した新しい花火大会。肉の陣も同時開催します。

所 米沢総合公園

場 よねざわ戦国花火大会本部

☎0238-22-9607

◆11月19日 甲子大黒天例祭

弘法大師作の甲子大黒天をまつもので、全国から大勢の人が訪れます。

所 甲子大黒天本山

場 甲子大黒天本山 ☎0238-32-2929

◆12月4日

保呂羽堂の年越し祭 3

下帯姿の氏子たちが今年の収穫への感謝と来年の豊作への願いを込めた歌を歌いながら餅をつき、参拝客に振る舞います。

所 千眼寺保呂羽堂

場 千眼寺 ☎0238-37-3708

◆1月17日

笹野観音十七堂祭 4

山伏たちによる火渡りの荒行が、無病息災を祈願して行われます。観音堂前には一刀彫の露店が立ち並びます。

所 笹野観音境内

場 笹野観音(幸徳院)

☎0238-38-5517

◆1月中旬～3月中旬

米沢八湯かまくら村

温泉街にかまくらが立ち並び、米沢ら一めんなどの出前を頼むこともできます。

所 小野川温泉、白布温泉、湯の沢温泉

場 温泉米沢八湯会

☎0238-55-2121 (白布温泉 中屋別館不働)

◆2月第2土曜・日曜

上杉雪灯籠まつり

約200基の雪灯籠と、雪ばんに灯されたろうそくが会場一帯を優しく照らします。

所 上杉神社境内・松が岬公園一帯

場 上杉雪灯籠まつり実行委員会

☎0238-22-9607

※日程や内容が変更になる場合もあります。お出かけの際はお問い合わせください。

温泉

名湯で心身をほぐす

私達
温泉ソムリエが
実際に入湯しました！



伊藤 かずみさん 鈴木 美香さん

「温泉ソムリエ」とは…

温泉ソムリエ協会が、湯の成分、安全・効果的な入浴法など、温泉に関する正しい基礎知識を身につけた者を認定するものです。

温泉米沢八湯会 温泉米沢八湯会 検索

山形県の自慢の一つは全市町村に温泉が湧く「温泉王国」であること。米沢では、古き良き伝統の湯、山奥に湧く秘湯など、八つの湯巡りを楽しめます。
(現在、五色温泉は閉業しています)



一 小野川温泉 四季のうつろいを楽しめる 河鹿荘の露天風呂

1200年の歴史を持つ、小野小町由来の温泉。鬼面川沿いの自然豊かな風情が自慢です。美人の湯として有名です。
泉質／含硫黄・ナトリウム・カルシウム・塩化物温泉
(小野川温泉旅館組合)
〒米沢市小野川町 2501-1 小野川温泉旅館組合
☎ 0238-32-2740

共同温泉
& 足湯



小野川温泉には共同浴場と足湯が3つずつあり、それぞれに異なる趣きを楽しめます。



温泉街

小野川温泉は…

ほのかに硫黄の香りも楽しめる、湯冷めしにくい温まりの湯です。

米沢市街から小野川温泉街まで約15分。13軒の旅館からなります。



© 温泉むすめ / Enbound, Inc

「小野川小町」

小野川温泉「温泉むすめ」
おしよしな観光大使。
四季を愛する雅で
艶麗な歌人。

小野川温泉の 「小野小町」伝説

小野小町が父を探す旅路の途中で体を壊した際に、薬師のお告げによって発見し、療養したのが小野川温泉と言われています。温泉街には小野小町ゆかりの「薬師堂」「休み石」があります。



ラジウム玉子作りに挑戦！

温泉街にある2カ所の湯だまりでラジウム玉子が作れます。



約72度の温泉に玉子をひたすこと約12分…



ラジウム玉子の完成！



トロトロ！
いただきます〜♪

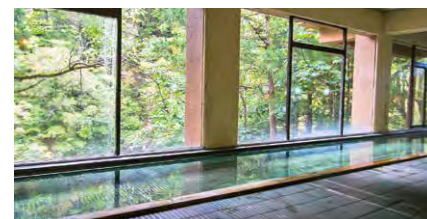


東屋の女性露天風呂

二 白布温泉

開湯700年。湯滝、溪谷を望む大浴場など、多様な湯が楽しめる宿が軒を連ねます。

泉質／含硫黄・カルシウム・硫酸塩温泉
(白布温泉観光協会)
〒米沢市大字関 1522-2



中屋別館不動閣の長さ約20mのオリンピック風呂



白布温泉は…

茅葺き屋根が特徴の西屋

保湿成分「メタケイ酸」を含む、肌あたりやわらかな湯です。しっとり肌へと導きます。

温泉街から徒歩約10分、落差30mを流れ落ちる様がダイナミックな白布大滝。夏には涼を求める人で賑わいます。



三 新高湯温泉



山々を望む眺望露天風呂



西吾妻山や朝日連峰が一望できる一軒宿。標高1126m(いいフロ)にある5つの露天風呂が人気です。



根っこ風呂

泉質／カルシウム・硫酸塩温泉
〒米沢市大字関湯の入沢 3934

◎ 新高湯温泉 (吾妻屋旅館) ☎ 0238-55-2031

新高湯温泉は…

肌の蘇生効果に優れているこの湯は、美肌へと導いてくれます。それぞれの露天風呂から見下ろす絶景が最高の癒しとなるでしょう。



木を活用した貸切源泉1126 (いいふろ)



四 うばゆ 姥湯温泉

標高 1250mにある、絶壁に囲まれた一軒宿。岩肌をぬって湯が流れています。見事な渓谷美と乳白色の絶景露天風呂が自慢です。

泉質／単純酸性硫酸泉

営業期間／4月下旬～11月上旬

所 米沢市大字大沢字姥湯 1

園 姥湯温泉（樹形屋）

☎ 090-7797-5934 0238-35-2633（案内所）



旅館のそばにはダイナミックな渓谷美が広がります。

五 のさわ 湯の沢温泉



羽黒川上流に位置する、2人宿泊専用の一軒宿。全10室の客室は全て趣きが異なり、上品な大人の空間に満ちています。

泉質／単純温泉（低張性・中性・低温泉）

所 米沢市関根 12703-4

園 湯の沢温泉（時の宿すみれ）☎ 0238-35-2234



豊かな自然の中にたたずむ旅館。

六 おおだいら 大平温泉

吾妻山中に位置し、駐車場から徒歩約20分の秘湯。最上川源流の自然を独り占めできます。

営業期間／4月下旬～11月上旬

泉質／含硫酸・カルシウム・ナトリウム・硫酸塩温泉

所 米沢市大字

李山 12127

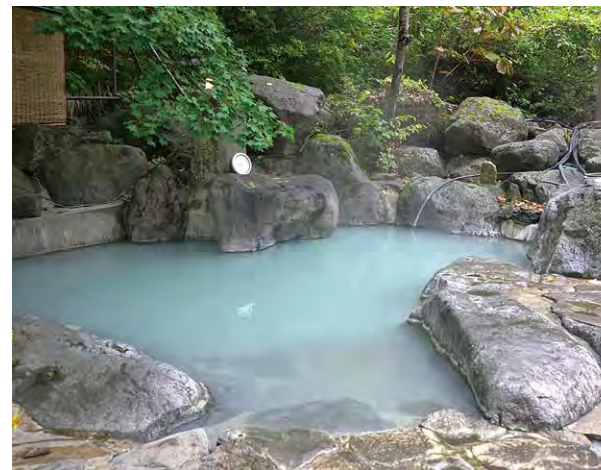
園 大平温泉（滝見屋）

☎ 090-3024-1726

0238-38-3360

（案内所）

滝見屋の裏手にある火焰滝（ひのほえのたき）は、階段状の崖を豪快に流れ見応え満点。



七 なめがわ 滑川温泉

古くから湯治場として親しまれてきました。川沿いの露天風呂など、自然を満喫できます。

泉質／含硫酸・ナトリウム・カルシウム・硫酸塩・炭酸水素塩温泉

所 米沢市大字大沢字滑川 15

園 滑川温泉（福島屋）

☎ 090-3022-1189 0238-34-2250（案内所）



風情のある木造建築の宿。

八 こしき 五色温泉

2024年春にリニューアルオープンしました。

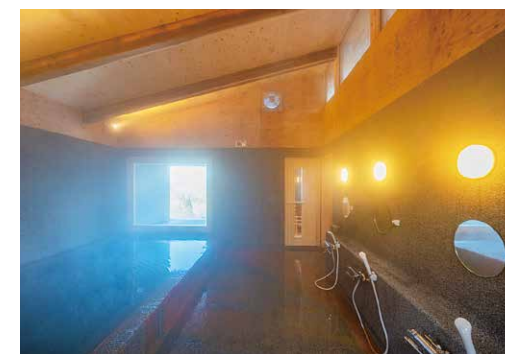
子宝の湯として知られる湯治湯。たちのぼる五色の湯けむりから発見されたと言われてます。風景を切り取ったようなスクエアな窓からは、遠くの山々と広大な風景を眺望することができ、自然と一体になるような感覚を味わえます。

泉質／ナトリウム・カルシウム・炭酸水素塩・塩化物温泉

営業期間／4月～11月

所 米沢市大字板谷 498

園 五色温泉オートキャンプ場 ☎ 0238-34-2510



湯ったりたっぷり
楽しむ

温泉街では
さまざまな
イベントを開
催しています。

小野川温泉はたるまつり 小野川温泉

小野川温泉街ではゲンジボタル・ヘイケボタル・ヒメボタルの3種類の蛍を同時に鑑賞することができます。まつり期間中の土日は茶屋が開店します。

園 6月中旬～7月中旬

園 小野川温泉観光協議会 ☎ 0238-32-2740

天天台高原 白布温泉

ナイトクルージング&星空鑑賞

白布温泉から程近い天天台高原で満点の星を眺めませんか。ナイトガイドが夜空の旅へ案内します。

園 7月～8月の週末を予定 園 天天台高原 ☎ 0238-55-2236

かまくら村 小野川温泉 白布温泉 湯の沢温泉

小野川温泉・白布温泉・湯の沢温泉にかまくらが出現。かまくらの中にラーメン等の出前も可能です。

園 1月中旬～3月中旬 園 各温泉旅館

名物

グルメ食べづくし

米沢の魅力の一つが食文化の豊かさ。「米沢の味ABC」と称される**館山りんご(Apple)**、**米沢牛(Beef)**、**米沢鯉(Carp)**を中心に、自慢の味が揃っています。



Beef
米沢牛

日本三大和牛の一つに数えられるブランド牛

柔らかな肉質とまろやかな風味で人気の米沢牛。きめの細かい霜降り肉の口の中であろけるような食感を、すき焼きやステーキなどで味わってみては。

歯ごたえ、糖度共に最高級の味わい

11月

山形県内で最も古くから栽培されている「館山りんご」は、甘酸っぱさと豊かな香りが特徴で、品評会でも高い評価を受けています。旬の時期には、蜜がたっぷり入ったりんご狩り体験も楽しめます。

体験 10月上旬～11月中旬

上村果樹園 米沢市矢来3丁目3-39 ☎0238-23-4107

モリヤ農園 米沢市六郷町西藤泉1228 ☎0238-37-4527



米沢鯉
Carp

200年の歴史を持つ米沢の味

清冽な水で3年間飼育した鯉は、身が引き締まり泥臭さが無いのが特徴。じっくり煮込んだ鯉の甘煮は、お祝い事には欠かせません。

さくらんぼ

山形はさくらんぼが有名で、米沢市でも肉厚で甘味と酸味のバランスの良いさくらんぼを生産しています。赤い宝石を存分に食べられるさくらんぼ狩り体験もできます。

体験 6月中旬～下旬

我妻観光果樹園

米沢市万世町梓山1882 ☎0238-28-5431

上村果樹園

米沢市矢来3丁目3-39 ☎0238-23-4107

鈴木農園 米沢市大字李山5510 ☎0238-38-6266

中山果樹園 米沢市館山694-7 ☎0238-22-1725



4～6月

うこぎ

古くから垣根として利用されてきました。春から夏にかけての新芽は、様々な料理に使われます。



10～11月

芋煮

牛肉、里芋、こんにゃく、長ねぎ、ゴボウ、きのこなどを醤油仕立てで食べる山形の秋の風物詩です。

雪菜

雪の下で育つ冬の野菜。独特の辛味があり、漬け物の「ふすべ漬け」は絶品です。



冬期間



6～10月

丸茄子

丸くて可愛い見た目が見られます。さっぱりとした味わいの浅漬けは夏にぴったり。



11～3月

小野川豆もやし

小野川温泉の湯を利用して栽培・収穫されます。シャキシャキとした歯ごたえの良さがクセになります。

3F すき焼き・しゃぶしゃぶ 「毘沙門(びしゃもん)」

2F 焼肉「黄金(おおい)」

4F ステーキレストラン「明星(あかほり)」

大切な時を、もっと美味しく

レストラン 金剛閣
ご予約専用ダイヤル
0238-22-4122
受付時間 10:00～20:00
https://www.kongoukaku.com

〒992-0017 山形県米沢市桜木町3-41
FAX 0238-22-2242 E-mail g_plaza@o-ki.co.jp
定休日/火曜日 駐車場/50台
営業時間/11:00～15:00 (L.O.14:30)
17:30～21:00 (L.O.20:30)
※営業時間は変更になる場合がございます。詳しくはHPをご覧ください。電話でお問い合わせください。

店舗ごとに異なる味わい



米沢らーめん

手もみの細ちぢれ麺と、鶏ガラと煮干しをベースとしたあっさり味のスープが特徴。

米沢そば

米の不作への備えとして上杉鷹山が栽培をすすめました。南原地区は「上杉原方そば」として有名。



地酒

米沢の美酒の秘密は、最上川源流が育んだ土壌で生産された米と、吾妻山系の清らかな伏流水、そして厳しい冬の寒さにあります。まろやかで芳醇な味わいを心ゆくまでご堪能ください。



酒造資料館 東光の酒蔵

東北最大級の酒造資料館。昔の酒蔵にタイムスリップしたような空間で、100年前の木桶が整然と並ぶ仕込蔵は必見です。見学の後は蔵元直営店で試飲やお買い物を楽しめます。

東光
純米大吟醸袋吊り



当蔵は米沢藩上杉家の御用酒屋で、現在も地域性のある酒造りに取り組んでいます。米沢の風土が感じられる地元の酒を、ぜひお試しください。

酒造資料館 東光の酒蔵
副館長 小嶋 健市郎 さん

開 9:00~16:30 休 12/31、1/1、冬期間(1月~2月)毎週火曜日 入 一般350円、中高生250円、小学生150円
所 米沢市大町2丁目3-22 ☎0238-21-6601

香坂酒造

代表銘柄の「香梅」は、洗米からラベルの貼付まで、すべて手作業。造りはその時々状態を見て・触れて判断しています。

所 米沢市中央7丁目3-10
☎0238-23-3355

純米吟醸 香梅



新藤酒造店

明治3年創業。「九郎左衛門」をはじめ、米沢の豊かな恵みを生かした日本酒をお届けしています。

※酒蔵見学、小売販売は行っていません。詳しくはHPをご覧ください。

純米大吟醸 第八代 九郎左衛門



雄大な西吾妻山をはじめ、自然に溢れる米沢。トレッキング、スキーなど春夏秋冬の「遊び」を満喫してください。



西吾妻山トレッキング

春から秋は色彩豊かな山々と多様な高山植物、冬は樹氷と、年間を通してトレッキングが楽しめる西吾妻山。中腹に位置する標高1350mの天元台高原までロープウェイで一気に登る「空中散歩」もオススメです。フラワーガイド付きツアーもあります(要予約)。

所 天元台高原 ☎0238-55-2236



天元台高原スキー場

本州トップクラスのパウダースノーが人気のスキー場。自然を生かした最長滑走距離6000m、標高差900mのゲレンデは滑走コースが豊富です。「かんじき&スノーシュー体験」や「雪上遊覧圧雪車乗車体験」も行っています。

所 米沢市白布温泉天元台
☎0238-55-2236

米沢スキー場

国道13号沿いでアクセス抜群。初心者から上級者まで楽しめる8コースがあります。宿泊施設が軒を連ねる「ペンション村・キラキラ王国」がゲレンデに隣接。

所 米沢市万世町刈安24266-1
☎0238-28-2511



小野川温泉スキー場

小野川温泉郷から車で約3分。緩やかな斜面なので、初心者やファミリーも安心です。貸し切りも可能で、さまざまな用途に利用できます。

所 冬期の土曜・日曜・祝日・年末年始(月曜を除く平日は団体予約のみ)
所 米沢市小野川町字志田1881-1
☎0238-32-2121

挑戦と創造のあかし 「米沢品質」



米沢に脈々と受け継がれる「なせばなる」、
それは尽きることのない挑戦と創造のエネルギー。
常にその先を切り拓く「精神」で挑み、自らの「行動」で創りだす、
人の心を動かし、明日を輝かせる「価値」を、
私たちは「米沢品質」と呼ぶ。

●ブランドスローガンは、
“挑戦と創造のあかし 米沢品質”です。

「挑戦と創造」には、誰よりも米沢を愛した上杉
鷹山の「なせばなる」の精神が、「米沢品質」には、
厳しくも豊かな自然、歴史が磨いた文化と技、
独特の気質などの米沢らしさとその精神の特色
が掛け合わされ、これらを活かして産業、技術、
サービス、さらに教育や住みやすさまで、米沢
の品質のすべてを磨いていこうという強い意志
を込めています。

●米沢品質向上運動に取り組む運動体
「TEAM NEXT YONEZAWA」は、
日々米沢品質を磨き続けています。
(登録企業 244 社、2025 年 1 月現在)

●米沢品質向上運動の中から生まれる、
「挑戦と創造」を究め、特に秀でた
米沢品質を有する商品やサービス等に
対する顕彰制度として、
「米沢品質AWARD」を実施しています。



**米沢品質AWARD
(2019~2024)**

2019 鈴の宿 登府屋旅館

2019 アルス (株)

2019 ぬきんご WORK at ART 事業部

2019 米澤佐藤産産

2019 ペシア (株)

2019 鷹山秘伝豆 anDessert



2021 道の駅米沢



2021 NPO法人 青空保育



2021 (株)ニューデックシンセイ



2021 (株)nitorito



2022 三井屋工業 (株) 東北事業部



2022 (株)米沢移りの会



2022 (株)シルキーリビング



2023 (株)米沢牛黄木



2023 里山ソムリエ



2023 福祉車両専門店らぶれす



2023 道の駅米沢



2023 今野味噌醤油醸造店



2024 KOMFORTA



2024 心意気デザイン (株) 川島印刷



2024 (株)三倉堂



2024 (株)tree

水曜日の小野川温泉



カップルで日帰りでも楽しめる
フィンランド式サウナやスチームサ
ウナが人気。どちらも混浴貸切、完
全予約制。セルフワッシュにオロポ、
ご当地アイスなど自由に楽しんで。

所 米沢市小野川町2493 鈴の宿 登府屋
旅館 ☎0238-55-22611 図 11:00
~22:00(休曜日は10:00~22:00、土
曜日は11:00~15:00) 図 毎週木曜日
P あり 水曜日の小野川温泉 検索

天元台高原



トレッキングやスキー・スノ
ボ、ロープウェイなど、春夏秋冬
の大自然を楽しむレジャー施設。
様々な宿泊プランも用意。詳し
くは公式HPでチェックしよう。

所 米沢市大字李山12118-6
☎0238-55-2236 図 ロープウェイ/
8:20~17:00 (土・日・祝日は8:00~) リフ
ト/8:30~15:40(土・日・祝日は8:10~)
P あり 天元台 検索

株式会社 米沢食肉公社



米沢牛枝肉セリ市場の開催、
枝肉販売、加工まで食肉全般を
扱う米沢の食肉流通拠点。受
賞多数のカルパス・サラミ類は
道の駅米沢等で購入可。

所 米沢市万世町片子5379-15
☎0238-22-0025 図 8:30~17:00
(土・日・祝日) P あり
米沢食肉公社 検索

米沢牛黄木 金剛閣



米沢で愛され90年以上。米
沢牛黄木の直営レストラン。選
び抜かれた最高級の米沢牛を
焼肉やしゃぶしゃぶ、すき焼き、
ステーキなどで堪能しよう。

所 米沢市桜木町3-41 ☎0238-22-
4122 図 11:00~15:00(L014:30)、
17:30~21:00(L020:30)
(土・日・祝日) P あり
黄木 金剛閣 検索

※状況により営業時間の変更あり

ふるさとの味一筋 平山孫兵衛商店



140年の歴史と伝統が育ん
だ、しょうゆ万能調味料「うま
いたれ」。どんな料理にも手軽
に使える、毎日の食卓を楽しく
してくれる。ネット販売あり。

所 米沢市大字2丁目2-22
☎0238-24-2222 図 8:00~17:00
(土・日・祝日) P あり
うまいたれ 検索

株式会社 ベジア



山工科大学開発の常温乾燥
技術により食材の色や風味が維
持された「鷹山秘伝豆のジェラ
ート」。「米沢品質AWARD2019」
受賞。道の駅米沢等で販売。

所 米沢市城南4丁目3-16
☎0238-26-3268 図 土・日・祝日
ベジア 検索
※ mail/info@vegea.jp

道の駅米沢 米沢牛ステーキレストラン 牛昆亭



徹底した肉の管理設備により
米沢牛の生食が味わえる数少
ないレストラン。米沢牛刺しや全
長50cmもの「米沢牛押し寿司」
など豊富なメニューが楽しめる。

所 米沢市大字川井1039-1 ☎0238-
40-8888 図 10:00~18:00(平日
L017:30、土・日・祝日L018:00)
(土・日・祝日) P あり
牛昆亭 検索

牛鍋おきき



米沢駅から徒歩1分。米沢牛
と郷土料理が気軽に味わえる。
米沢牛のすき焼きやステーキな
ど気軽に定食メニューが豊富。
各種飲み会プランも。

所 米沢市駅前3丁目2-18
☎0238-40-1129 図 11:00
~15:00(L014:30)、17:00
~20:30(L020:00) 図 無休
P あり 牛鍋おきき 検索

※状況により営業時間の変更あり

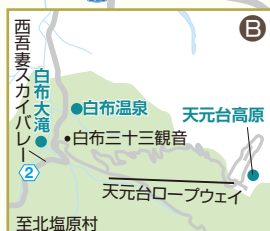
米沢市街地MAP

至喜多方市
別枠Aへ



凡例

- 史跡
- 観光施設
- ⊕ 郵便局
- 🏪 ローソン
- 🏪 セブンイレブン
- 🏪 ファミリーマート
- 📶 Wi-Fiフリースポット



観光タクシー
モデルコースをご案内！
運転手が観光地へお連れします。



道の駅米沢

「オール米沢(置賜3市5町)」がコンセプト。米沢牛、米沢らーめん、米沢そばなどが楽しめるほか、新鮮な野菜、惣菜、工芸品などが購入できます。



☎ 無休
☎ 総合観光案内所・農産物直売所・特産品販売所 9:00～18:00
フードコート・ファストフード 10:00～18:00 (一部店舗除く)
コンビニエンスストア 7:00～21:00
道路情報コーナー・トイレ 24時間 ※詳細は表紙裏面参照
☎ 米沢市大字川井 1039-1 ☎ 0238-40-8400

道の駅田沢 なごみの郷

米沢市と福島県喜多方市を結ぶ国道121号沿いにあります。曲がり屋の建物が特徴。特産・物産品が購入できたり、手打ちそばなどの食事が味わえたりします。

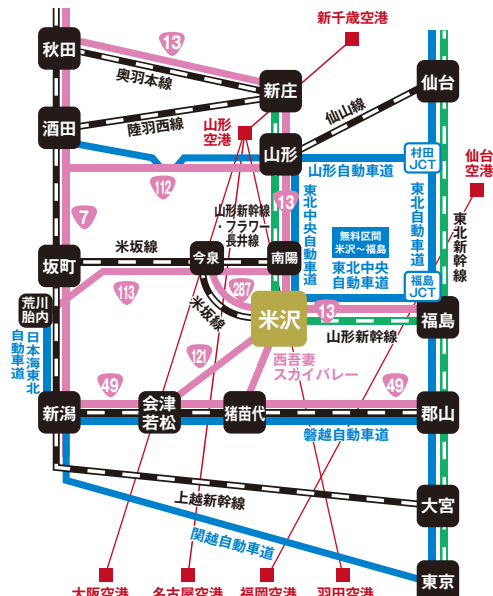


☎ 1月1日
☎ 道路情報コーナー・売店 9:00～18:00 (12月～2月は17:00まで)
食堂 11:00～14:00 ※そばがなくなり次第終了
トイレ 24時間
☎ 米沢市大字入田沢 573-19 ☎ 0238-31-2753

車ご利用の方

東京	東北自動車道	260km	福島JCT	大笹生IC	無料区間	30km	米沢
仙台宮城IC	東北自動車道	68km	荒川胎内	R113	今泉	R287	
新潟	日本海東北自動車道	46.6km	会津若松	R121	南陽	R13	
新潟	磐越自動車道	95km	会津若松	R13	30.5km	南陽	
山形	R13	30.5km	南陽	R13	15km	米沢	
会津若松	R121	16.3km	喜多方	R121	49.5km	米沢	

交通のご案内



列車ご利用の方

東京	東北・山形新幹線		約2時間	米 沢
仙台	東北新幹線	福島	山形新幹線	
	約25分		約30分	
新潟	快速	米沢(米沢駅の影響により坂町駅・今泉駅間は代行バス輸送(2025年1月現在))		
	約2時間38分			
山形	山形新幹線		約23分	



飛行機ご利用の方

羽田	約60分	山形	山形新幹線	米沢
大阪 (伊丹)	約75分			
新千歳	約75分			
名古屋 (小牧)	約65分			
福岡	約105分	仙台	東北・山形新幹線(福島経由)	



高速バスご利用の方

仙台	約2時間	米沢
東京	約5時間	米沢

お問い合わせ

米沢市観光課

〒 992-8501
米沢市金池 5-2-25
☎ 0238-22-5111 (代)

置賜広域観光案内センター (ASK)

〒 992-0027
米沢市駅前 1-1-43
☎ 0238-24-2965

(一社) 米沢観光 コンベンション協会 (観光案内所)

〒 992-0052
米沢市丸の内 1-4-13
☎ 0238-21-6226

道の駅米沢総合観光案内所

〒 992-0117
米沢市大字川井 1039-1
☎ 0238-40-8400



Facebook
米沢観光 Navi
<https://www.facebook.com/yonezawakankounavi>



X
米沢観光 Navi
@yonezawakankou



YouTube
米沢観光 Navi
<https://www.youtube.com/user/yonezawakankou>



米沢の観光ホームページ

米沢市公式ホームページ

<https://www.city.yonezawa.yamagata.jp>



米沢観光 Navi

<https://travelyonezawa.com>



(一社) 米沢観光コンベンション協会

<https://yonezawa.info>



山形おきたま観光ポータルサイト

<https://okitama-kanko.com>



Instagram
米沢観光 Navi
@yonezawakankounavi



Instagram
よねざわ女子旅
@yonezawa_gt



LINE
米沢観光
コンベンション協会

